

## 能登の避難所を見て

能登半島地震では、全壊家屋が多数出るなど建物の被害の他に、石川県内全体で最大約11万戸が断水する被害がありました。災害時はトイレ環境が整うまで時間がかかる可能性があります。

避難所の声

- ・トイレはすぐ汚れたり詰まったりした
- ・並ばないと入れない
- ・トイレがストレスで食事が取れなくなった
- ・夜のトイレが心配で寝られなくなった

「トイレの備え」として  
携帯トイレを準備しましょう

### 携帯トイレの使い方

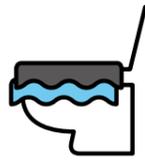
※製品により便器にかぶせるポリ袋は入っていないことがあります。



1▶ ポリ袋を便器にかぶせる  
便器内の水で携帯トイレの袋がぬれるのを防ぐ



2▶ 便座の上から  
携帯トイレ設置



3▶ 用を足し凝固剤を入れる



タイミングは製品により異なる



4▶ 臭いが漏れないように  
しっかり結ぶ

排泄物はポリ袋に  
まとめ、ごみ収集  
まで保管



（可燃ごみとしてごみ収集に出すことが可能です。）

- ・家族の人数分の備蓄を、出来れば1週間分以上備えておきましょう。
- ・トイレトーパーも多めに備えると安心です。
- ・携帯トイレはドラッグストア、ホームセンターなどで購入できます。

トイレの備蓄(4人家族の場合)

成人の平均排泄回数

5回 × 7日 × 4人 =

140回分/週  
が必要です!!

小松防災士の会  
高野 明美さん

断水・停電になった避難所でのトイレは、想像を超える混乱が生じます。当たり前の日常が奪われる怖さを、私たちは知っておかなければなりません。確実にできる「トイレの備え」をしておけば、安心して食べることも水を飲むこともできます。トイレは「命」に直結します。次に来るかもしれない災害のために、トイレの備えは必ずしてください。



特集

## この一年で見えてきたこと

### 事前防災と地域のつながり

令和6年能登半島地震発生から一年がたちました。この地震からどのような課題が見えてきたのでしょうか。当時を振り返り、これからの災害に対して備えを万全にしていきたいと思います。

特集に関する問い合わせ

広報秘書課 ☎24・8016

01

## 市の被害状況と検証

市で観測史上最大となる震度5強を記録した令和6年能登半島地震。

市では被害を受けながらも、県の要請を受け、1月4日～8日を中心に県内でいち早く輪島市、珠洲市などの孤立集落の被災者を受け入れました。また、消防応援部隊やDMAT隊など、能登への応援に多くの職員が向かいました。

この地震の被害状況や課題、改善策について検証し、結果を報告書に取りまとめました。



建物内部の状況



歩道の液状化状況(浜田町)

小松市の被害件数(令和6年12月13日現在)

人的被害(人)					住家被害(棟)						
死者	行方不明	負傷者		合計	全壊	大規模半壊	中規模半壊	半壊	準半壊	一部損壊	合計
		重症	軽傷								
1	0	1	1	3	1	0	11	66	229	8,154	8,461

小松市の避難者数

1次避難者ピーク時 (市内で開設した避難所等への避難者数)	2次避難者ピーク時 (能登地方からの避難者数)
1,923人	1,109人

被害状況、災害対応など  
報告書はこちら▶



02

## いち早い支援に向けて

市では平成28年から罹災証明書交付の迅速化に向けての取り組みを始め、令和4年8月の豪雨災害発生時には、被災者支援チームを設立するなど被災者に寄り添い、支援漏れゼロを進めてきました。

現在、大きな災害が起こった時の情報管理の重要性から、県内の全市町で同一のシステムを導入しています。市内部での情報共有により、被災者が支援の内容ごとに何度も被害状況を聞き取りされる負担の軽減や義援金の迅速な支給など、総合的な支援を実施しています。



CHECK

### 小松市女性の防災ハンドブック

小松防災士の会女性部会が中心となり、女性目線の防災ハンドブックを発刊しました。災害時のトイレ対応のほか、災害食の作り方や災害時に役立つ備蓄品など家庭で出来る災害対策が分かりやすく書かれています。市ホームページやこまつ防災アプリでも確認できますので、ぜひ一度ご覧ください。



06

## 地域で避難所運営



小松市町内会連合会  
会長 村西 卓さん

能登半島地震では、避難所開設や運営の課題が浮き彫りとなりました。

町内会連合会ではこの課題にどう向き合うべきかを考える第1歩として、小松防災士の会と連携した研修を行い、地域に応じた課題やその対応について議論しました。

避難所運営は「共助」が大きな役割を果たします。今後も住民、行政、関係団体などと力を合わせて、いつ発生するかわからない災害に備える取り組みを進めていきたいと考えています。



### 各地域での取り組み

#### 稚松校下



稚松防災士の会と連携し、全町内で防災マップの作成を進めています。

#### 蓮代寺校下



全4町内が合同で避難所開設・運営の訓練を行いました。

#### 新町



恒例行事と防災学習会を同時開催！多くの町民が参加しました。

07

## 地区防災計画を作りましょう！

災害時の状況に応じた行動計画を示す「防災タイムライン」や地域住民で災害時の危険な場所や安全な避難経路を確認する「防災マップ」の作成は、地域内だけでなく個人の防災力向上につながります。

地域で作成した地区防災計画を、市ホームページで紹介しています。



問 危機管理課 ☎24・8150



危機管理課 寺田 昂平さん

地域の防災力  
向上が大切です



### 2月号から連載スタート！「わたしから始まる防災」

知っておきたい防災に関する豆知識などをお知らせします。

04

## 住まいの耐震対策

輪島市、珠洲市、穴水町での調査結果によると、令和6年能登半島地震で昭和56年以前の木造建築物の約2割が倒壊しています。住まいの耐震対策を進めましょう。

### 住まいの耐震診断・耐震改修補助金

昭和56年5月31日以前に工事着手した木造住宅に対し、耐震診断や耐震改修工事の補助を行っています。



### 令和6年能登半島地震に伴う被災住宅耐震促進事業補助金

令和6年能登半島地震による罹災証明で「一部損壊」以上の木造住宅などに対して、耐震診断や耐震改修工事に加え、傾斜修復工事、建替工事を行う場合に、費用の一部を補助する制度を新設しました。

問 建築住宅課 ☎24・8105

対象住宅、補助要件など  
詳細はこちら▶



05

## 地震による電気火災対策

東日本大震災では、火災原因の約54%が電気関係とされ、能登半島地震の輪島市大規模火災も、電気関係が火災原因である可能性が高いとされています。

感震ブレーカーは、地震の揺れを感知すると自動的にブレーカーを落として電気を遮断する機器で、電気火災を防ぐために有効です。

### 感震ブレーカー設置補助金

補助対象	補助率	上限金額
コンセントタイプ (タップ型)	購入費用の2/3	8,000円
簡易タイプ	購入費用の2/3	2,000円

※購入費用は千円未満切り捨て

問 消防本部予防防災課 ☎20・2707

感震ブレーカーを設置して  
「住まい」「地域」を守ろう！



感震ブレーカー



消防本部予防防災課 坂井 恒喜さん

申請書など  
詳細はこちら▶



### 防災講習やっています！

防災には日頃からの対策が必要です。地域の防災訓練へ参加するなど、少しでも対応できるように心がけましょう。

小松市消防団女性分団では、町内での防災講習のほか、こども園での幼児防災教室や応急手当講習会での指導などを行っています。

問 消防本部消防総務課 ☎20・2705

